



毎月8日は「かみはやし♡ちよとえあい♡の日」

困りごとを解決する「ささえあいカタログ」も更新予定！

問い合わせ

介護高齢課地域包括支援センター

☎53・2111 (内線3432)

問い合わせ

朝日支所地域振興課自治振興室

☎72・6881

記事ID

0012601

かみはやし互近所ささえ隊では、昨年度「ちよと助けて」「ちよと困っている」を解決する【ささえあいカタログ】を作成し、全戸配布しました。

今年度も内容を更新し、【ささえあいカタログVol.2】を配布する予定です。気軽に活用していただくとともに、「こんなささえあいがある」ということをたくさんの方に知っていただき、ささえあいの場が増えることも期待しています。

さらに今年度、毎月8日を【かみはやし♡ささえあい♡の日】と制定しました。



▲買い物支援「ささえ隊」の様子

どんな小さなことでもよいので、ささえあうことを意識する日になればと思います。「ちよと」ならできない、「ちよと」なら頼める、それだけで良いのかなと思います。

また、希楽々主催の買い物支援「ささえ隊」は昨年7月から再開し、月2回、イオン村上東店で実施しました。「買い物ついでにランチしたい」「そんな希望も叶えられる取り組みです。さらに必要とする人が気軽に利用できるよう、地域に広げていきたいと思えます。

■隊長コメント

助けたり、助けられたりすることが、日常的に誰もができる、そんな地域になればいいなと思います。合言葉は「ちよと」じゃー。



▲令和元年度 秋の大収穫祭の様子

塩野町地域まちづくり協議会は、塩野町、松岡、早稲田、原小須戸、本小須戸、荒沢、大須戸、蒲萄の8集落で形成された協議会です。地域の農作物を利用した「まちづくりコロッケ」の販売、毎年11月に旧塩野町小学校で実施している秋の大収穫祭、集落のお宝を巡る散策事業などを行っています。

その中でも、秋の大収穫祭はこれまで8回開催し、塩野町地域の秋の名物行事となっています。

交流と助け合いを通じて、いつまでも住み続けられるまちを目指して

8集落からそれぞれ料理を1品ずつ持ち寄り、ワンプレートにして提供するもので、地域内外から400人程のお客様が来場します。「1年に1回、他集落のお友だちと会ってお話しをするのが楽しみ」という人も多く、地域住民の大事な交流の場となっています。こうした地域振興・交流の場づくりもさることながら、今後は人口減少社会に対応した地域課題解決型の事業にも力を入れて取り組んでいきたいと考えています。



▲各イベントで販売「まちづくりコロッケ」